



2020年9月24日

各位

会社名 九州旅客鉄道株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 青柳 俊彦  
(コード番号: 9142 東証第一部、福証)  
問合せ先 広報部長 鷹野 恵一  
(TEL 092-474-2541)

## 2021年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2020年8月4日に公表いたしました「2021年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想及び配当予想について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正

##### (1) 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	291,700	△32,300	△31,400	△28,400	△180.76
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	432,644	49,406	50,613	31,495	198.16

##### (2) 2021年3月期通期個別業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	145,000	△24,500	△15,800	△11,400	△72.56
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	214,892	34,398	40,584	28,698	180.56

### (3) 修正の理由

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により収入動向等が極めて不透明であり、合理的な算定が困難であることから未定としておりました。

新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として見通せない状況であります。緊急事態宣言解除以降の収入動向等を踏まえ、現時点において入手可能な情報をもとに一定の前提を置いて、業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

なお、今回の業績予想は、再度の緊急事態宣言など大規模な社会活動の制限は想定しておりません。また、2020年7月に九州各地で発生した「令和2年7月豪雨」による被害の復旧費用については、現時点で合理的に見積もることが困難なものは含めておりません。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 2021年3月期配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	93.00	93.00
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	46.50	—	46.50	93.00

### (2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけており、株主還元については長期安定的に行っていくことが重要と考えております。2022年3月期までの間は、1株当たり配当金93円を下限として、連結配当性向35%を目安に配当を行うこととしております。加えて、資本効率の向上を図るため、状況に応じて自己株式取得を行うこととしております。

2021年3月期の業績は非常に厳しい見通しですが、上記の方針に基づき検討した結果、2021年3月期の配当予想は、1株当たり年間配当金93円とする予定です。

なお、当社は、取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回に分けて剰余金の配当を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による今後の業績への影響等を慎重に見極める必要があるため、2021年3月期は中間配当を行わず、期末配当の年1回とする予定です。

※ 業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績及び配当は、新型コロナウイルス感染症の収束時期や金利の変動、株価の変動、為替相場の変動、保有資産の価値変動、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。